

今週の教会での活動

月曜日-和太鼓12:30PM、水曜日-CCN 麻雀クラブ 2:30PM
木曜日-Paper Rollers 9:30AM、金曜日-礼拝堂のクリスマス飾りつけ12PM
土曜日-CCN観劇 2:00PM

お知らせ

来週の日曜礼拝-日本語部はありません。10時の礼拝後、バーコーホールにて、クリスマスブランチがあります。サインアップされた方は、忘れずに出席してください。聖歌隊の方は、9時40分から12月18日に行われますクリスマスキャロル礼拝に向けて練習を行います。忘れずに出席しましょう。

12月11日-11時半からの日本語礼拝後、日本語部のクリスマス祝会を行います。昼食は教会で用意いたします。ぜひご参加ください。

2016年12月の予定

12月の日本語礼拝は、12月11日と12月24日(クリスマスイブ)です。

12/1, 8	Paper Rollers	9:00AM	Bercaw Hall
12/3	CCN 観劇@Lyceum Theater	2:00PM	Vanguard Univ
12/4	10AM礼拝後、クリスマスブランチ	10:00AM	LCR
12/5、12、19、26	和太鼓	12:30PM	礼拝堂
12/10	CCN クリスマスパティー	5:00PM	Bercaw Hall
12/11	日本語部クリスマス礼拝・祝会	11:30AM	LCR
12/14、21、28	CCN Joy Luck Club(麻雀)	2:30PM	T-Hall
12/18	クリスマス合同礼拝&コンサート	10:00AM	礼拝堂
12/24	クリスマスイブ・キャンドルサービス (Family Candlelight Service @6PM, Traditional @9PM)	4:00PM	礼拝堂
12/25	クリスマス合同礼拝	10:00 AM	礼拝堂

2016年12月11日待降節第三主日聖餐礼拝の聖書日課・讃美歌

第一日課: イザヤ 35:1-10 讃【21】242、248、234、265
第二日課: ヤコブ 5:7-10
福音書: マタイ 3:1-12

9812 Hamilton Avenue
Huntington Beach, CA 92646-8014
教会オフィス: (714) 962-5005
日本語部直通電話: (714) 964-1912
<jministrylcr@gmail.com>
日本語部牧師: 安達 均
携帯: (949) 923-8535
website: california.lcrjm.com

「待ち望む」

マタイによる福音書24章36節〜44節

2016年11月27日待降節第一主日説教

By Rev. Brad Stienstra

感謝祭の週の始めは、往々にして私たちの周囲は目まぐるしく展開する、多くの人が水曜の夜から車に荷物を詰め始め、まだ夜の明けぬ内に半分眠っている子供を車に押し込んで、渋滞する前に、感謝祭の食事に間に合うようにとおばあちゃんの家に向かって車を飛ばす。そして同じ日の午後には、運動靴の紐をしっかりと締めて、もう一度リストを確かめ、一番乗りで自分の欲しいものをゲットしようと、ブラックフライデーのバーゲンへと急ぐ、なぜならサンタはすでに先週末、パラシュートで海岸に降りてきて、ホリデーラッシュが正式に始まったと警報を鳴らしたのだから。

しかし、この礼拝堂では、このような気違い沙汰に参加しようと準備をするのではなく、急ブレーキをかけている。私たちは待降節に入り、新しい年を迎えようとしている、今は平和を重視する時であり、気違い沙汰に参加できない残念さはあるかもしれないけれど、とにかく速度を落として落ち着くべき時なのだ。この時期は、待つ時期-「待つ」という行為は、私たちの概念から言えば、良い行いのリストの一番最後に載っている事かもしれない。

私たちは待つことが大嫌いだ。私たちの時間は非常に貴重なもので、少しも遅れることなど耐えられない。自分たちの要求に対して親から、「待ってなさいね」、と言われるのを好む子供などいない。そしてこれは年を取ると同時に改善されるものではない。交差点でたった数分の信号待ちの時など、もし前の車が初心者で、すぐにギアが入らない時などは、超ムカツク。オンラインでオーダーした品物が、その会社によって翌日付で届かない時などは気分がイライラする。

テレビで5分ごとに出る50の州の選挙結果を追ってアナウンサーが赤なのか青なのかなかなか言わない時、早く知りたくて我慢できない状態となる。厳しい寒さのミネソタ州で、バスが遅れたためにバス停で待っていなければならない時とか、病院で手術の経過を知らされないまま、手術室の前の廊下を行ったり来たりしている時など、私たちは誰かを責めたくなるほど気持ちが急ぐ。そして、自分は神様に選ばれた者だ、と自負したい私たちにとって、最も難しいのが、神様の到来を待つ事なのである。

待つことは、私たちの生活のスムーズな流れが妨げられるだけではなく、私たちを通常とは対照的な現状に置くことになる、そしてさらに悪いことに、それは神の約束の信頼性と、それに対する私たちの信仰を危険にさらすことにさえる。

「待ってみる」こと自体は私たちが恐れているほど私たちがダメにはしないだろうが、私たちが全てを思うようにコントロールしたい、という願望がどれほど強いかを明らかに示すだろう。私たちには到底予想できないが、神様が一体何をなさるのか、私たちをどのような計り知れない状態に置かれるのか、何も私たちに明かされない時、未知の将来が私たちにとって手に負えるものかどうか不安になる。まさにその時、私たちは不可欠な教えを学ばざるをえない事を痛感する。それは私たちが創造物であり、創造者ではないと言う事実である。私たちには、待たなくても全てが解決するような特権は与えられていない。私たちは永遠に、何時何をどう決められるかわからない唯一の創造者の慈悲にすがらなければならないのだ。

待降節は、何事もない平穏な日曜日にやって来る、それはまさにアブラハムとサラが、夢で見た神の約束を25年間も待ち、やっと子宝に恵まれた年のことを思い起こさせる。モーセは、神のお告げを聴くまで、40年も砂漠をさまよい、さらに神がイスラエルの民を約束の地に導くまでに40年の年月を経ることになる。キリストの弟子たちも、かなり長い間イエスのお供をし、やっと彼が誰であるか、何を達成するためにこの地上に来たのか理解できるようになる。

そしてその後も彼らは自分たちで耐え忍びながら聖霊の訪れを待ち、ようやく主のみことばを世界中に伝える時を迎えるのだ。

私たちにとっても相違はないと思う。神様が今朝この集會に集まった人々に語るメッセージは、私たちも神様のご計画を完全に知るまで、素直に待つことが大切な過程であり、決して私たちの生活の妨げではないということだと思う。本日の福音箇所でもタイは聖霊に満ちた言葉でこう私たちに語っている: 私たちの心を日々新たにしてくださる大いなる聖霊の訪れに、常に目を覚ましていなさい。彼は、私たちが突然の変化に驚くことによって、飲み食いし、結婚したりさせたり、ギフトを買ったりパーティーでギフトをあげたりする普段の生活から一歩下がる必要性を語っているのではないだろうか、要するに、待つこと、そして見ていることなのである。

待降節に、神様が寛大にも停止ボタンを押してくださっている。ただ単にあなたに息継ぎさせるためだけではなく、私たちの脳をリセットしてくださっている。神様はあなた方LCRのメンバーが、新しい牧師がリーダーとして与えられる時が来るまでのこの中間期間が、決して時間の無駄ではなく、沈滞期間でもない事を示されている。天の父なる神は、あなた方を愛するがゆえに、神様があなた方に新しい牧師を示される時までの過程において、あなた方が多くの素晴らしい事柄を心に感じ覚える、そのような機会を与えてくださっている。だから、今即、後でとんでもない結果をもたらすような計画を急いで立てるよりも、リラックスすることだ。全て神様の御心となるように、信仰を持って生活を続けることだ。四週間足らずでクリスマスを祝う時が来る。この転換期は決してあなたに害を及ぼす時ではなく祝福の時なのだ。私たちの創造主が常にあなたが必要とする全てを与えてくださることを、あなたが信じ続けるなら、疑うことなく、万事があなたにとって良い結果をもたらすに違いない。あなたが待ち望んでいることは、全て偉大なる御手の中にあるのだから。先ずは、待ってみようではないか！ アーメン

芙美Liang 要約